

2020年度ジュニア・ライフセービング実施報告書

日時	2021年 3月 20日	9:30 ~ 12:30	会場	野幌総合公園運動場	
主催クラブ	小樽ライフセービングクラブ				
対象/参加人数	こども 8名/大人5名 合計13名				
J L Aのねらい 達成度	水辺活動における楽しさの中から、自然や人との関わりあいを学び、相互理解から命の大切さを実感することによって、たくましく豊かな人間形成を目指す。				
	十分達成した		達成した	達成していない	
クラブのねらい 達成度	水辺での安全な過ごし方や事故に遭わない、事故にあった時の知識や技術を習得する機会を創り、普及に繋げる。				
	十分達成した		達成した	達成していない	
使用機材・教具	大型テレビ、PC、ライフジャケット、ペットボトル、ニッパーボード				
タイムテーブル	楽しさ	人との関わりあい	いのちの大切さ	指導指針 参考ページ	クラブの 創意
10	オリエンテーション及びアイスブレイク				
	○参加者同士のコミュニケーションを向上させる				
20	○スタッフ紹介			P50	
30	水辺の危険な場所を発見！				○
	○参加者で協力しながら水辺の危険な場所やその理由を話し合い、知識や判断能力を高める。				
40					
				自分の命を守る事柄を知ろう！ ○津波フラッグやライフジャケットの紹介	
50	避難訓練をやってみよう！				○
60	○「教室開催中に地震が発生した」の想定で実際に室内での対処また、避難を行い意識を高める。				
70	休憩及び着替え				
80	ライフジャケットの特性を知ろう！				○
90	○命を守るライフジャケットを実際に着用して、その特徴やいい点、気をつけなければならない点を知る。				
100	○実際に水に浮かんで体験してもらおう。ジャンプして飛び込んでみよう！				
110	身近なもので浮くものはなんだ？！				○
	○身近なものとして「ペットボトル」などで浮く事を知り、さらに、泳がなくても救助できることを知る。				
120	休憩				
130					
140	ニッパーボード体験				
	○水辺での楽しさを知り、仲間と共有することを学ぶ。				
150	○ライフセービングについて知る。			P100	
160	振り返り				
	○自分の身を守るのは自分自身であり、その知識と技術を再確認する。				
170	○水辺で安全に楽しむためには仲間の存在が大切であることを再確認する。				
	○活動を振り返る中で、お互いに感謝、保護者に感謝、全てに感謝する。				
180	着替え及び移動				

項目	楽しさ	人との関わりあい	命の大切さ
要素ごとの達成度			
活動内容ごとの振り返り	<p>オリエンテーション及びアイスブレイク ○密を避けながらのアイスブレイクの方法や手法をもう少し考慮すべきと思った。</p> <p>水辺の危険な場所を発見！ ○パワーポイントで画像などを示しながら子供たちと対話形式で出来ていたので、子供たちの自主性も見られとてもいい形であった。 ○津波フラッグは誰も知っている人がいなかったため、更なる周知が必要と感じた。</p> <p>自分の命を守る事柄を知ろう！ ○実物を見せながら説明が出来たため、その特徴や重要性を知ってもらえた。また、保護者の方々にも実際に触ってもらいライフジャケットについて理解を深める事が出来た。</p> <p>避難訓練をやってみよう！ ○地震が起きた時の対処方法や、避難方法をあらかじめ知り、実際に体験する事でさらに理解が深まったように思う。子供は体験する事でとても楽しみながら学ぶ姿が印象的だった。</p> <p>ライフジャケットの特性を知ろう！ ○プールでの実施となったが、ライフジャケットの特性の復讐と正しい着方を習得してもらい、実際にプールに飛び込んだり友達を輪になってみたりして楽しみながらライフジャケットの特性を体験してもらえた。保護者の方たちのライフジャケットについての質問が多かったのが印象的であった。</p> <p>身近なもので浮くものはなんだ？！ ○ライフジャケット以外に浮くものは何かを探してみたり、身近なペットボトルでの浮き方や、体の大きい人に対してはどうする？など色々を知ってもらえた。水に入って助けに言ってはダメ！という事をわかってもらえた。</p> <p>ニッパーボード体験 ○とても楽しくボードに乗ってもらえた。ライフセービングにも興味を持ってもらえたことと、こうした教室を海でもやっている事を知ってもらえて保護者の方々にも興味を持ってもらえた。</p>		
改善計画と今後の展望	<p>今回、実施するにあたり、募集を行ったが本来対象としていた子供たちの予定が年度末の時期では難しいという事がわかった。急遽、対象者を変更し再募集したことによって、年齢の幅ができプログラムの進め方や内容をどのようにすると効果的に楽しく安全に体験してもらえるかかなり苦労したため、今後については、それぞれの対象年齢に応じた学習内容を作っておくともっと効果的な教室の展開が望める。親子で参加してもらう事で家族間での会話や理解についても効果がみられると思われるので、今後はその辺も考慮したプログラムを考えていきたい。</p>		

・ 集合写真



・ 集合写真





